

# かいほつ

## 64号

題字 福岡小学校  
3年 鈴木 千奈

岡崎市現職研修委員会  
特別支援教育部会  
平成23年 2月10日発行



おにのお面を作ったよ。どう？  
(山中小)

「おはようございます。校長先生。」  
「おはようございます。今日はカエデの葉っぱを持っているんだね。」  
「校長先生も、これ、どうぞ。」  
ポケットから出して手渡されたのは、もう一枚のカエデの葉っぱでした。雨上がりの通学途中で拾ったのでしょうか、やや湿っています。交流学級での授業で使うためなのでしょう。自分の分を大事そうに持って「ひまわり教室」へ向かっていきました。

毎朝の校門でのあいさつから心のつながりが広がっていったと感じている子です。毎朝ほとんど同じ時間に母親と一緒に登校して来ます。母親と心が「つながっている」と感じられます。

分けてもらったカエデの葉っぱは、押し花にして校長室の机に大事にしています。この葉っぱを失うことは、この子どもたちの心のつながりが切れてしまうような気がしています。

同じように大事にしたいと思っていますものがあります。それは、カレンダーです。本校には「ひまわり学級」と「さくら学級」の二学級があり、合わせて七人がいます。毎年十二月になると、その二学級の子たちが校長室にやって来てくれます。

「失礼します。」  
「はい、どうぞ。いらっしやい。」  
「これはぼくたちが作ったカレンダーです。校長室で使ってください。」  
「いつもありがとう。大事にするからね。」  
七人の子たちはとても誇らしげです。今回のカレンダーの表紙には、この子どもたちの気持ちを表すように、大きな顔のうさぎが満面の笑みを浮かべています。このカレンダーは校内でもファンが多く、今年は教務主任さんのはからいで、デジカメで複製が作られ、職員室の希望者に配布されました。

この子どもたちが、家族と「つながっている」と感じているように、教師とも心が「つながっている」という感覚を育てていきたいと考えています。



矢作南小学校長

山口 和雄

「つながっている」という感覚

# 子どもと親の集い ブロック交流会

## デイキャンプの思い出

美川ブロック

生平小五年 山下 寛登

十月一日に、デイキャンプに行きました。まず、じこしようかいをしました。それから、森の中でおやつがしをしました。そのあと、みんなでとんじろを作りしました。ぼくは、あぶらあげと、肉を切りました。とんじると、おにぎりを食べました。おいしかったです。かたづけのあと、アスレチックであそびました。ぼくは、ターザンロープが大すきです。みんなと、じゅんばんのにのりました。たくさん遊びました。たのしいキャンプでした。



豚汁、おいしいよ



協力できたよ、焼きそば作り

## 新企画大成功 竜海ブロック

竜海中教諭 中野 悟

「先生、薪ください。」

今年のブロック交流会午前の部は、美合の青年の家野外炊飯場で、焼きそばパーティーでした。例年、竜海中学校に集まってお楽しみ会だったので、新しい企画です。子供たちは五〜七名のグループに分かれ、大きな鉄板で焼きそばを作りました。保護者も入り、にぎやかに調理と会食会ができました。午後は学校ごとに司会をし、体育館でゲーム大会でした。風船をみんなで落とさないようにレシーブするゲーム、新聞の上に決められた人数だけ乗るゲーム、じゃんけんに勝ったら前に進めるゲーム、中学生のしっぽを取るしっぽ取りなどをやりました。保護者も参加でき、とても好評でした。

## 盛りだくさんのブロック交流会

東海・額田ブロック

東海中三年 松本 香苗

今年の模擬店は何にしよう。十月の初めから協力して準備してきました。十月二十日、ブロックの仲間や先生、お母さんなど五十名ほどの方をお迎えし、私の司会で会が始まりました。「学校紹介」では、ハンドベル演奏を披露しました。「名刺交換」では、他校の友達とジャンケンをしてたくさんの名刺を渡すことができました。「模擬店」では、前半は店番をし、後半は「たこ焼き屋」や「ポウリング屋」に遊びに行きました。景品にパンケーキがもらえて嬉しかったです。そしてお昼にはお母さん方が作ってくださいました豚汁を小学校の友達といっしょにいただきました。楽しい時間はあっという間に過ぎました。思い出に残る交流会でした。



このキャラクターは なあんだ？

## 各ブロックの交流会の内容

北・岩津・常磐	ゲーム屋さん (各校によるゲームコーナー)
葵・城北	レクリエーション・保護者コーナー・なかよし横丁
甲山	レクリエーション・七夕交流会・茶話会
美川	デイキャンプ (オリエンテーリング・豚汁作りなど)
東海・額田	お店屋さん・豚汁作り
南・福岡	講師によるふれあい遊び・各校の出し物
竜海	レクリエーション・焼きそば作り
竜南	パンケーキ作り・ふれあいゲーム
六ツ美・六ツ美北	ふれあいゲーム・各校によるアトラクションコーナー
矢作・矢作北	ミニ運動会・豚汁作り

ブロックごとの交流会になり、十年近くになります。どこのブロックも工夫を重ねてきた結果、保護者の皆様にも期待される催しになってきました。各校による出しものやお店屋さん、講師を招いての会やミニ運動会、また保護者や児童・生徒が協力して行う昼食作りやデイキャンプなど、そのブロックの実情に合った内容や方法が取り入れられ、どのブロックも楽しく、充実した活動が展開されました。今後も、子どもたちの実態をしっかりと把握し、保護者の皆様の考えを取り入れ、より充実した交流会を開催できるようにしていきたいと思っております。



わあい、紙プールが完成！

四・五組は重点単元「つくってあそんでみんなえがお」を授業公開。全校に呼びかけて牛乳パックを集め、みんなで新聞紙を切って準備してきた紙プールがいよいよ完成する。A児が見通しをもてるように、学習内容のカードを机に提示して授業が始まる。子どもたちが切る紙の音だけが教室に響く。紙をプールに入れると、かくれんぼ、まねっこ遊び、宝探しと、夢中になって遊ぶ。最後に大型テレビに映した活動の様子を見ながら話したことを作文に書き、発表。大きな声で作文を読むB児の姿がうれしかった。



今年も自主研修会「かいほつ塾」を十回行いました。昨年度から通算二十回を数えます。内容は、特別支援教育の実践に有効な子ども理解、指導法、事例検討などが取り上げられました。新学習指導要領の要点を押さえた個別の指導計画作りや、保護者との相談の進め方、専門家による応用行動分析を利用した支援法、通級指導教室担当者による教室経営と実践・教材紹介など、幅広い研修ができました。総計四百名を超える市内教職員が参加しました。



通級指導担当者の教材紹介



十一月は、みあいフェスタで「みあいたんけんたい」をしました。メダルのかかりと足型マットのかかりもじょうずにできました。おきやくさんが、アクリルたわしをたくさんかつてくれました。うれしかったです。二年生になっても、元気ががんばります。

五月は、みあいピックがありました。ぼくは走りました。「うちゅうせんがやってきた」もやりました。はなみずが出ていやでした。でもがんばりました。十一月は、みあいフェスタで「みあいたんけんたい」をしました。メダルのかかりと足型マットのかかりもじょうずにできました。おきやくさんが、アクリルたわしをたくさんかつてくれました。うれしかったです。二年生になっても、元気ががんばります。

だいすき！みあいようこ学校  
 中学部一年 鈴木 友基

ぼくは、四月にみあいようこ学校に入りました。ドキドキしました。えん足は、くらがいけこうえんへ行きました。どうぶつえんに行つて、にわとりやしまうまをみました。ボールであそびました。おべんどうをたべました。おいしかったです。

通級指導を始めるには、希望する生徒と保護者と教育相談を行い、さらに支援委員会で個別の指導計画を検討して開始します。ソーシャルスキルや教科補充の指導から、学校生活や学習への自信をつけ、通常学級に戻ります。教室では埋もれてしまいそうでも、一対一の指導で話を聞いてもらえたり、つまづきを乗り越える方法に気づかされたりして、自分のよいところを出して学習する場ができます。小さな進歩でも自分のよいところを見つけて、その自信を胸に、自分の道を進んでいけるようにしています。

岩津中通級指導教室は、本年度四月に設置されました。学習や生活で苦手があり、週一〜三時間程度の個別支援をする子どもを対象にしています。現在は十二名(自校)の子が通っています。本校だけでなく、近隣の学校にも、支援の門戸は開かれています。

岩津中  
通級指導教室



パソコンを使った指導

岩津中教諭 三浦 裕昌



いっぱいできるようになったよ

緑丘小六年 山本 護

ぼくは、小学校でたくさんのができるようになりました。いちばんは漢字です。小学校では習わない漢字まで書いて、先生をびっくりさせたことがあります。次は計算です。百マス計算は得意です。体育では、二十五メートル泳げるようになりました。組立体操で倒立やサボテンを頑張りました。できたときはとてもうれしかったです。中学校でも、もっとたくさんのとをできるようにしたいです。

思い出している六年間

山本 温子

長かったようで短かった小学校での生活。この六年間で様々なことを学び、体験し、行事のたびに成長を見せてくれました。特に運動会の組立体操では次々とポーズを決め、美しく逆立ちが決まったときは感動して胸が熱くなりました。何事も新しいことに取り組む前は不安になりましたが、様々な場面で先生方や子どもたちが支えて下さり、乗り越えることができました。中学へ進学してからの課題は沢山ありますが、これからも共に頑張ります。

三年間の思い出

福岡中三年 山本 春紀

私の中学校生活のいちばんの思い出は修学旅行です。修学旅行は東京に行くのでとても楽しみでした。一日目は日光で日光東照宮や滝を見ました。二日目はデイズニースーに行きました。タワーオブテラーに乗りました。とてもよかったけれど楽しかったです。とてもいい思い出ができました。私は、もう中学校を卒業します。これからも勉強をがんばって、立派な大人になりたいです。

卒業によせて

山本 千鶴

一年生のとき、友達とうまくいなくて悩んだことがありますね。心配しましたが、立派に立ち直り、元気になったね。二年生のとき、初めてのスキーでは、リフトに乗るのがこわかったと言っていましたね。三年生のとき、修学旅行のデイズニースーでは、タワーオブテラーに友達と乗って楽しかったんだね。たくさんさんの思い出ができて、楽しい三年間の中学校生活だったね。

中学生の卒業後の進路

新設のみあい養護学校高等部、豊川養護学校本宮校舎、さらには定時制高校、専修学校と多様な進路先に対応する指導でした。

愛教大附属養護学校	0	7	1	0	12	1	4	16	2	19	1
みあい養護学校	0	7	1	0	12	1	4	16	2	19	1
岡崎養護学校	0	7	1	0	12	1	4	16	2	19	1
豊田高等養護学校	0	7	1	0	12	1	4	16	2	19	1
豊川養護学校本宮校	0	7	1	0	12	1	4	16	2	19	1
半田養護学校桃花校	0	7	1	0	12	1	4	16	2	19	1
全日制高校	0	7	1	0	12	1	4	16	2	19	1
定時制高校	0	7	1	0	12	1	4	16	2	19	1
専修学校	0	7	1	0	12	1	4	16	2	19	1
春日台職業訓練校	0	7	1	0	12	1	4	16	2	19	1
就職・その他	0	7	1	0	12	1	4	16	2	19	1
合計	31	25	56								

(二月四日現在)

今年度の表彰

こども音楽コンクール  
中部日本決勝大会 合奏第二の部  
優秀賞 福岡中 宮内理江花

愛知県ヴォーカルアンサンブル  
コンテスト  
金賞 常磐中 中島美由紀

NHKハート展  
入賞 福岡小 塩野入夢幻

読書感想文・読書感想画コンクール  
〈読書感想画の部〉  
岡崎市教育委員会賞  
常磐小 柴田柊次郎

入選  
秦梨小 杉本 果南  
大門小 尾藤 太介  
根石小 土岐のぞみ  
村松 大翔  
稲垣 南美

岡崎市技術・家庭科作品展  
入選  
生平小 山下 寛登  
岩津中 柴田 翼左

